

指導展開例 災害時の食の備えについて考える授業	中学校
	第1学年
	技術・家庭科

1 教科・学年 技術・家庭科（家庭分野） 第1学年

2 題材名 「災害への備え」

3 授業の位置付け

技術・家庭科（家庭分野）では住生活の内容において「災害の備え」が取り扱われている。この学習では住まいの安全や非常時の備えに必要なものを考えることができることをねらいとしている。北海道胆振東部地震では、電気を使えないことと流通が止ったことによる食生活での不便さを感じた生徒が多かった。そこで、従来の災害の備えの内容に災害時の食生活の工夫として「ローリングストック法」について学ぶこととした。

「ローリングストック法」は、普段の生活において少し多めに食材を買っておき、使った分だけ足していき、古いものから消費していくというシンプルな方法である。日常生活で消費する食品を非常食に取り込むものであり、消費と購入を繰り返す中で備蓄品の鮮度も保つことができるため、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができる。

授業での学びをより自分ごととしてとらえ、実際の家庭生活でも活用していくためには、家族の協力が必要である。家族と非常時の備えについて話し合うことで、子どもが自宅での備えについて知ることができるものと捉えている。昨年度の地震という経験を、生徒の「生きる力」につなげていきたいと思う。

B 災害への備え（全7時間）

(1) 住まいの役割・共に住まう 1

(2) 災害への備え 3

①胆振東部地震を振り返る（1）

②風水害（1）

③食の備え（1）←本時

※冬休みの課題「家族防災会議」

(3) 我が家の防災対策（発表会） 1

(4) 家族・地域の一員として 2

4 題材の目標

- ・ 災害への備えについて関心をもち、自分の家庭生活をイメージしながら具体的に考えようとしている。 【生活や技術への関心・意欲・態度】
- ・ 災害への備えについて課題を見付け、家庭における工夫を考えることができる。 【生活を工夫し創造する能力】
- ・ 住居の基本的な機能や自然災害に備えた住空間の整え方や食品の準備の仕方について理解することができる。 【生活や技術についての知識・理解】

5 本時の目標

- ・ ローリングストック法の考え方を理解し、日常から食品を定期的に点検し賞味期限を意識しながら消費することが、災害時に有効であることを知る。

6 本時の展開

	生徒の学習活動	教師のかかわり
事象への働きかけ	<p>○前時の学習を振り返る。 * 災害時の食の備えにはどんなものがあるだろうか。 班での話し合いを思い出す。 缶詰、カンパン、お菓子、レトルト食品、カセットコンロ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 継続した学習課題であることから、前時までの学びを生かして考えるよう促す。 実際の食品を見せながら確認する。
課題把握	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈学習課題〉 災害時のために食の備えをどのようにしたら良いのだろうか</p> </div>	
課題追究	<p>○災害食の問題点を確認する。 賞味期限・保管場所・価格など</p> <p>○「ローリングストック法」について知る。</p> <p>○各家庭で日常的に使用している、だし・みそ・具材を組み合わせる、様々な種類のみそ汁をつくり試飲してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ローリングストック法＝みそ汁ではないことに留意する。 賞味期限の長い食品や、常温保存可能な根菜などを紹介する、 特別な災害食を準備することではなく、普段の生活で意識していくことが大切であることを気づかせる。
課題解決	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈課題解決の姿〉 災害に備え、ローリングストック法を活用して、普段から食品の賞味期限などを定期的に点検することが大切である</p> </div>	
	<p>○ワークシートにまとめる。</p> <p>○本時の学びを振り返り、これからの生活の中で生かしていきたいことを記録表に記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学びを自分のことばで具体的にまとめるよう促す。

セルフチェック 1 (興味・関心・疑問をもてる)
地震の経験をもとに災害食の条件について具体的に考えることができるようにする。また、ライフライン(水道、電気、ガス)などの有無や使えない場合の対応も視野に入れさせる。

セルフチェック 5 (多角的・多面的に考察)
特別な災害食を購入しなくても保存食の賞味期限を定期的に確認しながら消費していくことが、災害への備えにつながることに気付かせる。

セルフチェック 6 (学びのよさを実感し、次の課題へむかう)
冬休み課題「家族防災会議」につなげることで災害への備えの大切さを実感できるようにする。

7 ワークシート記入例

学習日 11月18日

1年 / 組4番

災害への備え

1 2018年総振東部地震について

① 2018年9月6日3時7分に大きな地震がありました。あなたは直後にどのようなことをしましたか。

電気がつかず確保した

- ライトを探した
- 机を走りました

② 困った、不便だったこと ベスト5

- 充電があまりできなかったこと。
- たおめた家具を直すこと。
- 明かりがなかったこと。
- 店の商品が少なかったこと。
-

2 札幌 大地震

季節	主な被害
冬	火災発生、1/2の家が被害 死者2000人+凍死6000人

3 今日の学習で分かったこと、印象に残ったことを書きましょう。

もしも札幌地震がおきたら被害がすごいとおもったし、もしかしたらこれでは命などで死者が下る可能性が0%ではないとおもったので今日の地震はこれに比べて良かったとおもっています。

11月25日(月) 風水害
・停電
・土砂災害
... 60年2月1日 ...

学習日 12月2日

4 食の備えはどのようにしたら良いのだろうか

(ローリングストック) 法とは?

① 保存
② 食べる (おいたおき)

	①	②	③
A だし	ホシノリだし	赤だし	にぼし
B おに	かつおぶし	本だし	手卸
C わかめ、わか	わかめ、わかめ	わかめ、こんぶ	わかめ、ニンジン、キャベツ
観察メモ			
具材	まはついていた。	濃かった。	すこい味が味のにおいがした

5 今日の学習で分かったこと、これからの生活にいかしたいこと

今までは賞味期限を見ないで(気にしないで)食べていたのでこれから自分で賞味期限を見て食べていきたいと思いたく

学習日 月 日

家の防災会議

食の備え(保存食)

- 水 賞味期限
- ・シトル食品 → 2020年 8月21日
- ・お菓子 → 2020年 6月
- ・カップめん → 2020年 6月22日

電気がないときには、どうするか?

① 食べ物

- ・ご飯はガスコンロを使って土鍋で炊く。
- ・アイスなどの冷凍している物を先に食べる。

② 生活

- ・明かりは、懐中電灯やろうそくを使う。

冬の対策

- ・毛布をたくさん用意する。
- ・上着をたくさん着る。

学習日 月 日

自分の感想

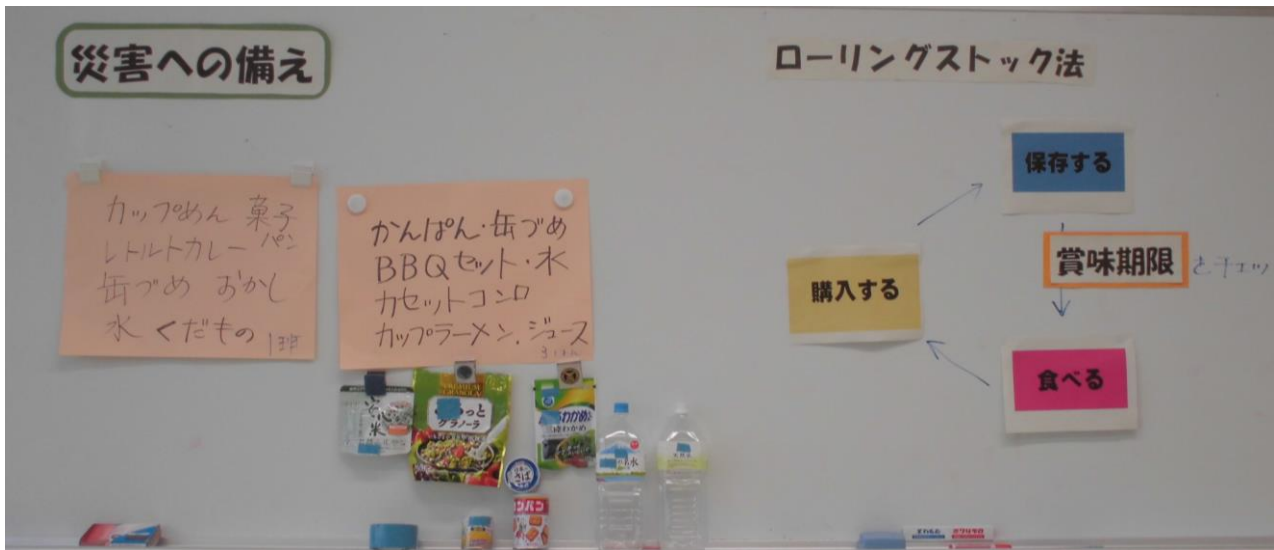
<p>前回の大地震のときにあまり災害への備えができていなかったため、今日考えたことを活かして災害への備えをしていきたい。</p>	<p>① 家の人から(書いてもらう)</p> <p>前回の大地震も死ぬというくらい怖い事、出来たらいいけど、死ぬのは怖い。だから賞味期限を見ないと、備えは怖く感じました。</p>
--	---

10 参考になったこと

① 〇〇〇せん	② 賞味期限は引き戸に入ると
〇〇〇せん	家具を斜めに固定する
〇〇〇せん	防災、保存食を確保する
〇〇〇せん	ベットの周りに音の悪いものは置かない

11

8 板書例



9 資料

- (1) こどものための防災教室 災害食がわかる本 泉マユ子著
理論社 2018. 8
- (2) 防災ママに学ぶ小さな防災のアイデア40 アベナオミ著 学研
- (3) おかあさんと子どものための防災&非常ごはんブック
草野かおる著 DISCOVER
- (4) 札幌市防災 DVD (札幌市危機管理室 H22)

